

とうきょう すくわくプログラム活動報告書

施設番号	66-0745
施設名	熊川保育園
施設所在地	福生市熊川597-1
法人名	社会福祉法人不動福祉会

1. 活動のテーマ

<テーマ>

泡(3歳児)

<テーマの設定理由>

水遊びの中で泡遊びを楽しんで泡に興味を持ってきた子ども達です。泡の大小、消えていく泡の色、泡はどのようにして作るのか子ども達から泡に触れる機会が出た疑問の中から見つけたり気づいた事を考えてみました。

2. 活動スケジュール

令和6年 7月25日 「水遊び、泡遊び」
令和6年 8月26日 「水遊び、泡遊び」
令和6年 9月19日 「泡遊び」
令和6年10月15日 「丸」

3. 活動のために準備した素材や道具、環境の設定

・テーブル・タライ・桶・シャボン玉液・絵の具
・スクリーン・ライトテーブル・書画カメラ・ブルーシート・黒の模造紙・蛍光絵の具・ブラックライト
・発砲スチロールの球体・ロープ・ホース

4. 探究活動の実践

<活動の内容>

自分達で泡を作り、その泡に実際に触れたりしてみました。その中で泡の大きさの違いや泡の細かな部分に気づいて、更に泡での遊びにつなげたり見立て遊びへとつながっていきました。泡遊びで活動が続けると泡の形が紙の上に落ちた様子を見つけて、泡の形に子どもたちが興味を持ち始めたので画用紙や絵の具、蛍光絵の具、ライトなどを用意して泡の形がよくわかるように試してみることにしました。蛍光絵の具を使うと泡が割れた様子がよりわかりやすく楽しめました。泡の形や様子を子ども達だ興味深く見ていました。泡の丸い形から丸の形へと関心を持った子どもたちの声を聞いて、身近な丸を集めてみることにしました。球体の物や丸い物をいろいろと集めて子どもたちがどんなふうにするのか、見立て遊びをするのか、その様子を楽しみました。

<活動中の子供の姿・声、子供同士や保育者との関わり>

【泡】水遊びの時期をきっかけに泡あそびを取り入れてみました。泡を作って遊んでいる子どもたちから楽しそうな会話や発見した声が聞こえてきました。……「泡がいっぱいあってかわいい」「泡が踊っているみたいだね」「泡をつなげるとおひげになるね」「小さい泡と大きい泡があるんだね」「泡ってつながるんだね」

【泡と色】泡遊びはとても盛り上がり楽しめました。泡の形を更にわかりやすくしてみることにしました。子どもたちの気づきや見つけたことは……「しゃぼん玉が消えて丸になったね」「大きな泡も出来るんだよ」「泡の手袋みたい」「キラキラの星にもみえるね」「ふわふわのみどりのスライムみたいだね」

【丸】泡が丸いということに気づいた子どもたち、丸を見つけることに興味を持ち始めました。いろいろな素材を用意してみました……「お顔の丸と一緒にだね」「パンケーキになったよ」「丸が出来てネックレスになったよ」「ロケットにも丸があるね」



5. 振り返り

<振り返りによって得た先生の気づき>

泡を使っの活動は子どもたちの遊び始めの反応がとても良かったです。子どもたちが自分で考えた言葉がたくさん聞こえてきました。シャボン液の泡は色が薄くて色や形の違いに気づく子が少なかった事から次回は色がわかりやすいように工夫することを考えてみました。次の回では泡に色をつけての活動にしてみました。室内で設定をする事で少人数の活動にも適していました。蛍光の絵の具を使ったのでライトを当てるとより形が子どもたちにはっきりと見えて良かったです。ライトを使い変化を加えることで更なる展開も見られ子どもたちが興味を持つ姿が見られました。泡の形から丸を発見した子どもたちの声をきっかけに日常の丸を集めてみました。3歳児の子どもたちには認識しやすく、わかりやすい形なので親しみやすかったです。日常にある物、保育士が見つけた物、丸はたくさんありますが子どもたちが組み合わせたり、見立てると楽しいアイデアがたくさん生まれることも探求活動につながる事がわかりました。今回の探求活動を振り返りシンプルなテーマが子ども達の探究心が深まる様に感じました。